

澁川一流柔術
無雙神傳英信流抜刀兵法

貫汪館会報

第65号

発行 貫汪館
発行日 平成二十二年八月二日
森本邦生
広島県廿日市市宮内一四八〇

下鴨神社古武道奉納演武会

白峯神宮古武道奉納奉告祭

平成22年5月4日(火)下鴨神社において、古武道奉納演武会が行われました。また、翌5日(水)には、白峯神宮において、古武道奉納奉告祭が行われました。これら両演武会は、日本古武道振興会が主催するもので、当館汪館からも毎年参加しています。

本年も例年どおり、下鴨神社に森本先生と丸田師範代が無雙神傳英信流抜刀兵法の演武を奉納し、白峯神宮には森本先生、丸田師範代が無雙神傳英信流抜刀兵法の演武を、森本先生、竹本康祐、竹本治恵の3名が澁川一流の演武を奉納しました。

参加された丸田師範代および竹本治恵から感想をいただきましたので紹介します。

(文責 竹本康祐)

下鴨神社奉納演武に参加して

平成22年5月4日、京都下鴨神社にて、葵祭の一環として古武道の奉納演武会が行われました。下鴨神社の糺の森は、最近、パワースポット特集で取り上げられることも多く、また天候にも恵まれ、今年も多くのお客で賑わっていました。

演武では、無雙神傳英信流抜刀兵法の7本の形を奉納しました。3月に久留米から静岡に転居したため、今ま

で最も稽古不足の状態での参加となりましたが、直前に森本先生に見ていただき、「体が覚えていいるから落ち着いてゆっくり」と、指導していただきました。それにも拘らず、稽古の時と変わらない注意点を疎かにした演武になってしまったのが反省点です。先生から演武を撮影したビデオをいただきましたので、今後の稽古の参考にしたいと思います。

(文責 丸田愛)

白峯神宮での演武

私が白峯神宮の古武道奉納演武会に参加させていただいて、今年で4年目になりました。昨年まで、はっきりしない天気が続いておりましたが、今年は初夏を思わすような気候でした。そのためか、いつもより若干見学されている方が多かったですように思います。

今回は、互棒を演武するため、少々緊張して望んだ結果、棒を落としてしまうという大失敗をしてしまいました。これは、多数の見学者を前にして緊張したことにより、体が浮いてしまったものだと思います。また、棒を意識しすぎるあまり、棒が棒であって自分の体の一部になっていませんでした。演武後、森本先生から、「棒を自分の手に合う太さにしてはどうですか。」と、指導いただきました。技とは形の稽古だけでなく、使用するそれぞれの道具にも工夫をしなければならぬと痛感した次第です。

(文責 竹本治恵)



貫汪館居合道講習会

平成22年5月30日(日)廿日市市立平良小学校体育館において「運剣」をテーマに貫汪館居合道講習会が実施され、貫汪館門弟の他、遠方からお越しの方も含め多くの参加者がありました。

今回、講習会の感想を御夫妻と娘さんとで居合の稽古をされている永井さん御家族にお願いしましたので掲載いたします。

基本中の基本

永井義隆

5月の講習会では主に「運剣」について教えていただきました。いつも、森本先生に稽古をつけて頂く度に、今までの自分の動きが、刀を無理矢理扱おうとする誤った動きであることを御指導頂き、気付かせて頂いております。今回の講習会でも、今まで自分が稽古してきた「運剣」は「運剣」では無く、力技で刀を無理矢理に持つて行なっていた動きであるという事がはつきりと解りました。無駄な力を用いない動きは何か物足らず、不安に感じますが、ここが基本中の基本であるということを出来るよう稽古を重ねていきます。

臍下を中心に

永井 ゆかり

この度の講習会で教えていただいた「運剣」では、頭の中を空にし、臍下を中心に刀をめぐらせることの大切さを学びました。しかし、頭で理解したつもりでも、ひとたび刀を持つと意識が抜くこと振ることに集中してしまい、大変

難しく、そして、もどかしく感じました。森本先生から、体の中心が回らず、外側だけが回っているとの御指摘もいただき、少しでも臍下を中心に動けるよう工夫を重ねる努力を心がけました。私の場合は、敵に対する想定もままならず、流刀では、相手のどこを斬るのかという理さえも理解しておりませんでした。

今まで間違つて身につけた動きをいかに捨てることができるか、また自分の我が、心が邪魔をすることの多い中、頭を空にし、ああしようこうしようという想いをいかに捨てることができるかを課題にして、日々の稽古に精進して参りたいと思います。

講習会の感想

永井 寿希

今回習った「運剣」は難しいと思いました。はじめのうちは先生が指導して下さったことを頭で理解しようとするばかりで、体がうまく動きませんでした。でも、後半になるにつれて邪念がなくなり体が少しずつ動くようになりました。

これからは臍下を中心に動けるように日常生活から工夫していきたいと思えます。



